

編集後記

今回、心理学篇は第10号の発行を迎えることとなりました。2010年4月に人間科学部心理学科が誕生し、2011年3月に第1号を発行してから10年も月日が経ったこととなります。その間に、何人かの先生方が退職され、そして、また新しい先生が加わりました。その流れは、これまでの本論集の中にたどることができます。

本10号は、4編の論文と各研究室の研究室報・活動報告を掲載しています。論文の内容は、生理心理学、病蹟学、心理学研究法、心理療法における治療構造と多様であり、専修大学人間科学部心理学科の、「心理学を多面的に学べる」という特徴を表しているといえます。また、研究室報からは、それぞれの先生方と学生が活発な活動をしている様子を窺うことができます。

ところで、心理学科は、公認心理師のカリキュラムが始まっ

て2年目となり、学部、大学院ともにカリキュラムの実施、及び、厚労省への今後の科目申請の作業に追われる日々でした。このような中でご執筆をいただいた先生方、査読や編集をご担当いただいた編集委員の岡村陽子教授、小杉考司准教授、池田彩夏講師にお礼を申し上げます。また、専修大学出版局の相川美紀様には、編集作業を始め日程の先導役をお引き受けいただきました。心よりお礼を申し上げます。

比較的暖かい冬を過ごしていましたが、2019年12月ごろに中国に発生した新型コロナウイルス感染症の感染者が、本文を書いている2月には日本でも少しずつ確認されるようになっていきます。これから予定されている3月の学生の門出と4月の新入生を迎える催しに水を差す恐れが懸念されています。しかし、私たち人類は、このような細菌の侵入の試練に遭遇し、何度も闘い抜いてきました。いずれはこの試練を乗り越えていくことを願っております。

(心理学篇編集主幹 吉田弘道)